

独立行政法人水産総合研究センター

平成23年度 契約監視委員会(第1回)議事概要

1.日 時 平成23年6月21日(火) 10:00~12:00

2.場 所 クイーンズタワーB棟7階G会議室(神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3)

3.出席者

委員長 細井 和昭 公認会計士
委員 蒲池 孝一 公認会計士
委員 鈴木 満 弁護士
委員 増田 隆 (株)神奈川新聞社 取締役
委員 朝比奈 清 (独)水産総合研究センター 監事
委員 杉田 賢一 (独)水産総合研究センター 監事
水産総合研究センター事務局

4.議事内容

(1)冒頭、事務局より前回委員会(3月18日)の震災による中止、4月1日組織改正に関する説明を行った。

(2)審議事項

①「随意契約等見直し計画の実施状況」について説明

②「平成22年度第2~4四半期の契約点検結果」について説明

委員から出された主な意見・質問に対する当センターの回答	
意見・質問	回 答
<p>○随意契約等見直し計画の実施状況について</p> <p>・一般競争入札に移行した外国雑誌の契約については、わざわざ代理店に競争させるより、随意契約でメーカーと価格交渉して直接購入した方が効率的と考える。</p> <p>(一方、「代理店間で競争させることは有効である。」との意見もあった。)</p> <p>・入札説明書に添付したアンケートについて、不参加の理由に「入札等までの期間が短く応札が難しかったため」とあるが、それはどういう案件に多かったのか、「納期に間に合わない判断したため」という回答については納期が第4四半期の発注だったりということはないか、回答件数が少なくても改善可能なかチェックして欲しい。アンケートの情報をどう活かして行くかは重要である。</p>	<p>・ご指摘の考えもあると思うが、競争入札への移行は国の方針なので、競争入札を行っている。ご意見の主旨は主務省へ伝える。</p> <p>・アンケート結果については、1件、1件確認しており、今後の改善の参考としたい。年度末の発注はなるべく控える等の対策を講じている。</p>

○平成22年度第2～4四半期の契約点検結果

・イベントの出展ブース借上げについて、備品をレンタルしているが、水研センターから持ち込みはできなかったのか。積算はどのようになっているのか。

・随意契約とするには1) 特別な事情により随意契約が妥当か。2) その契約金額が妥当か。の2点について検討する必要がある。契約金額が妥当であることを判断するための積算資料が足りない。センター内で行っている事後点検時には確認しているか。

・調査船の検査・修繕契約について、検査は何年ごとに行うのか。なぜ冬場の海が荒れる時期に実施するのか。業者に声かけは行われているのか。

・設備点検業務について、20年度には1者応札だったが、3者に改善され契約金額も減っている。声かけをやったため、1者応札が改善されたものとする。1者応札には担当者の声かけが非常に有効だ。前回入札者の資料がないが、どこだったのか。入札の案件には落札率を明記してほしい。

・高額な機械装置の契約について
※参考見積をとった3業者はメーカーか。

・持ち込みは可能であるが、搬入時間の制限、持ち込み、持ち帰りのための経費など諸要件を勘案し、レンタルとした。積算資料は後ほど提示する。(後ほど提示した。)

・特に、契約金額の妥当性については、担当者のラインでの作業で対応してきたが、ご指摘を踏まえ、今後は必ず積算資料を添付して、事後点検を行ってお示しする。

・検査は定期検査が5年に1度、第1種中間検査はこの間の2～3年に1度実施している。調査は主に春から夏にかけて行うのでどうしても検査は冬場になってしまう。日本海側の範囲内にもう1業者いるが、新船建造を主体としており、検査への関心が低く、ドックが空いていないことも多いため、入札には参加しなかったのではないかと考える。声かけは常に行っている。

・前回と同じ業者が落札したが、落札率は0%でだいぶ下がっている。業務内容が一部減った部分もあるが、声かけを行って競争相手が現れたことで、前回と同じ業者でも大幅な金額の減少になったと考える。今後は、事後点検の資料にも落札率を明記して、点検を行ってお示しする。

※製造メーカーとその取扱業者である。本件の公告に当たっては、所要の機能を踏まえ精査を行い、少なくとも2つのメーカーの機器での競争が可能となるような仕様書とし、WTOの手続きに従って、コメントを求めることも行った(意見無し)が、結果的には1者となった。

<p>※競争することは重要であるが、最高峰の機械を購入して最高の研究成果をあげるという経営判断もあるのではないかと。安いという理由で能力の劣る機械を購入して研究成果に支障をきたすことになっては本来の目的から反することになるのではないかと。</p> <p>・耐震補強工事について、1者しか入札に来なかったのか。契約日が11月となつてはいるが、もっと早くできなかったのか。</p>	<p>※研究に必要な水準を確認した上で、金額の競争を行ったのもので、競争入札は適正であったと考えている。</p> <p>・現場確認には2者来たが、海岸に近いという研究所の立地条件、専任技術者の確保が難しいという理由で1者が辞退してしまったようだ。予算の目処が付いた後速やかに手続きを開始したが、この時期になった。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------